

事前評価日 平成28年5月23日

No. 6032 02

基 本 事 項	事務事業名	浄水場施設管理事業			所管部署名	水道課 施設係				
	事業期間	昭和41年度 ~ 未設定	事業年齢	5歳	事前評価責任者	増田 典道	連絡先	048 - 982 - 7711		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		根拠法令等	水道法				
	事務事業の性質	毎年繰り返し			執行方法	一部委託 浄配水施設の操作				
	基 本 的 計 画 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			歳 出 予 算 科 目 細 目	事業名	施設更新事業費		
		まちづくり目標	うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)				会計区分	水道企業会計		
		施策	暮らしを支える上水道の充実				款 項	資本的支出	建設改良費	
		施策小項目	水道施設の整備				目	施設更新事業費		
	第3期実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			前年度の事務事業 有無・事務事業番号	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	603202			
	個別計画の 位置付け	計画名	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							
目 的	対 象 (誰を、何を)	(直接的対応) 浄配水場の管理 (最終的な対象) 水道水を利用する市民			手 段 (どのような事業 を行うのか)	浄配水場の維持管理および、施設更新を行う。				
	意 図 (対象にどのよ うな状態に なしてほしい のか)	増加する給水人口に対し、安心・安全な水道水を、浄配水施設を通じて安定的に供給する。			事務事業を取巻く 環境の変化・実 施上の課題	安心・安全で安定的な水道水を、低廉に供給することを目的とする水道事業において、PC配水池の耐震化工事および、創設からの浄水施設の更新工事等の大規模改修が必要である。				
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無									
業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	60320201	排水ポンプ運転		60320204	浄水場運転管理				

区分	区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度		
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)		
投 入 コ ス ト	① 直接事業費	350,607	130,531	148,106	147,476	16,945	177,573	166,466		
	② 人 件 費		14,782	15,024	14,904	9,572	-5,452	9,572	9,572	
		正職員直接投入人員		1.64人	1.54人	1.54人	0.97人	-0.57人	0.97人	0.97人
		正職員間接投入人員		0.15人	0.31人	0.31人	0.19人	-0.12人	0.19人	0.19人
	③ 間 接 経 費 (加算)									
④ コスト対象外 (除外)										
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	365,389	145,555	163,010	157,048	11,494	187,145	176,038			
資 源	⑥ 国庫支出金	60,000								
	国補助率	1/3								
	⑦ 県支出金									
	県補助率									
	⑧ 市 債	100,000								
⑨ そ の 他										
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	286,200	146,124	108,864	223,128	77,004	243,000	109,000			
	受益者負担率(⑩÷⑤)	78.33%	100.39%	66.78%	142.08%	41.68%	129.85%	61.92%		
C 吉川市年間負担経費(A-B)	-80,811	-569	54,146	-66,080	-65,510	-55,855	67,038			
D 補助・単 独 区 分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり <input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独									

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 配水量 総配水量(水道水の供給量)	m3	7,507,685	7,596,330	7,587,620	7,606,235	7,757,000
			7,433,966	7,576,213	7,726,198		
② 給水人口 水道水を利用する市民	人	70,464	71,340	72,143	73,550	74,919	
		70,358	71,168	71,770			
活 動 指 標	① 電気料 電気の使用料金	円	25,206,646	31,005,450	34,852,000	35,352,000	35,852,000
			30,505,450	28,151,860	25,618,207		
② 末端水質管理 末端給水での管理目標値以上の日数	日	1,460	1,464	1,460	1,460	1,460	
		1,008	864	628			
③ 有収水量 水道料金として算定できる配水量	m3	7,042,209	7,125,358	7,117,188	7,134,648	7,149,028	
		6,983,706	7,087,536	7,093,688			
成 果 指 標	① 有収率 有収水量/配水量	%	93.80	93.80	93.80	93.80	93.80
			93.94	93.55	91.81		
②							

業	区分	評価指標名(上段) / 指標の性質(下段)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果・効率性向上度のポジション 成果の維持と効率性の改善が必要 大 成果向上度 小 小 効率性向上度 大								
	目標結果	② 末端水質管理 増加することが良いとされる指標		69.04% ★★★★ 達成度がやや低い	59.02% ★★★★ 達成度がやや低い	43.01% ★★ 達成度が低い									
	成果結果	① 有収率 増加することが良いとされる指標		100.15% ★★★★★ 達成された	99.73% ★★★★★ 概ね達成された	97.88% ★★★★★ 概ね達成された									
	効率性	単位 当り コスト	② 末端水質管理 トータルコスト × 1,000円	単位 円/日	平成27年度 168,466	平成28年度 250,077 ↓		コストが増加している							
績	結果	単位当たり経費変動率(当該年度単位コスト÷前年度単位コスト)÷前年度単位コスト)		48.44%	コストが増加している										
評	主	H28総配水量内訳 単位:m3 <table border="1"> <tr> <td>会野谷浄水場</td> <td>4,474,538</td> <td>合計</td> <td>7,726,198</td> </tr> <tr> <td>南配水場</td> <td>3,251,660</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						会野谷浄水場	4,474,538	合計	7,726,198	南配水場	3,251,660		
会野谷浄水場	4,474,538	合計	7,726,198												
南配水場	3,251,660														
価	取	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、老朽化した基幹施設である浄水施設の耐震化を含めた施設の更新が必要となってくる。</li> <li>水質管理については、端末での残留塩素濃度を確保するため、給水区域内の洗浄作業を実施し、地区4箇所での水質監視を行っている。</li> <li>今後も同様の作業と水質監視体制を継続していくこととする。</li> </ul>													
組															

官 民 役 割 分 担 評 価	公共性	実施主体の妥当性	行政関与の妥当性	受益者負担の妥当性
	より多くの市民に提供され、しかも日常生活に必要不可欠なサービス	政策的意決定を必要とし、かつ行政上の専門知識を必要とするサービス	高 10 5 0 -5 -10 低	高 10 5 0 -5 -10 低

事 業 性	区分	評価	評価判断理由(特記事項)
	妥当性	役割分担 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討 対象・手段 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討 意 図 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・水道事業は、水道法第2条に地方公共団体が行うものとして規定されており、市の役割分担は妥当である。 さらに、安全・安心で安定的な水道水を市民に供給するための、水道施設の維持管理や水質監視も妥当である。
	有効性	成果向上の余地 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 上位施策への貢献度 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・水道水を供給するための施設は、水道法で規定された施設を安定的に維持管理するものであり、成果向上の余地が少ないものと判断できる。 ・市民が安心して安全な給水を受けられるようにするための施設の拡張は、上位施策への貢献度も高いと判断する。
	効率性	コスト改善の余地 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・施設の老朽化が進んでいるなか、安定的な補修が必要とされており、コスト改善の余地は少ない。 ・加入者分担金や使用料等の規定は給水条例で定めており、これ以上の受益者負担はないものと判断する。

改 善	これまでの改善(検討)状況とその内容	<input checked="" type="checkbox"/> 改善実施済 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 改善未実施 ・残留塩素濃度の低下を防ぐため、給水区域内の洗管作業を定期的にも実施するとともに、末端の水質監視箇所(4カ所)のうち、1カ所を変更し監視体制の充実を図った。 ・水道水が滞留しがちな区域内に水抜き用ドレンを新たに設置した。 ・継続して現在の作業を進めていく。
改 善	課題と今後の改善策	

事 業 の 一 次 評 価 性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了 ↓ <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	

一次評価日 平成29年5月19日 一次評価責任者 山口 剛介

二 次 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了 ↓ <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	
	説明	(一次評価者と二次評価者が同一のため、評価は同じになります。)

二次評価日 平成29年5月19日